

# セ タガヤ ボ ランティア ネ ットワーク



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン  
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2023.11 No.235

今月のトピック

- 特集 P.2-5  
2023年度ナツボラ&ナツボラ・ジュニアレポート
- まちの市民力 P.6  
世田谷子ども食堂・まつばらキッチン
- レポート P.7  
老人給食協力会ふきのとう「40周年のつどい」と  
見つめ直す地域のつながり

●イラストレーター Eri

絵を描くのが好きです。障害がありますが絵の先生と一緒に描いています。動物が大好きなので、お世話になっているヘルパーさんたちのペットの可愛い犬や猫を描いて楽しんでます。

●わたしの世田谷

世田谷には、障害者スポーツ『ハンドサッカー』の仲間がたくさんいます。みんなで一緒に練習して、競技を楽しんでいます！もっともっと仲間が増えるといいな。





# ナツボラ 2023

ナツボラは1985年から始まった、中学生から30歳くらいまでの若者を対象に、初めてのボランティアを応援する夏のボランティア体験プログラムです。昨年は規模を縮小して開催しましたが、今年は例年通りの内容で開催しました。

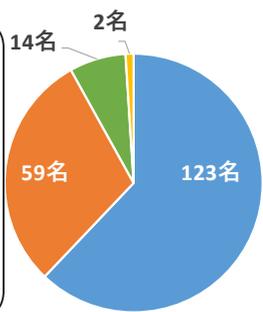
受入れ団体は、高齢者や障害のある方の施設、保育園や子どもに関わる施設など63団体、参加者は198名でした。ご協力くださった施設、団体のみなさま、ありがとうございました。

## 参加者1人あたりの活動場所数

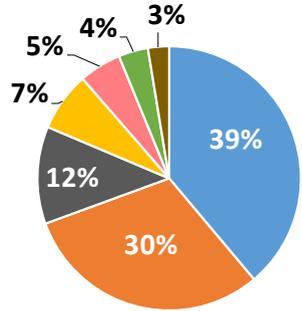
活動場所数	人数
1か所	168名
2か所	28名
3か所	2名

## 年代別

■ 中学生	62%
■ 高校生	30%
■ 大学生・専門学校生	7%
■ その他	1%

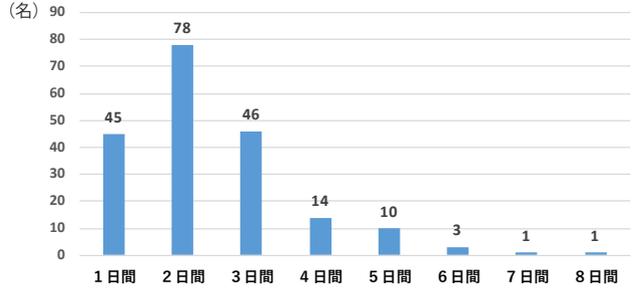


## ナツボラに参加した動機



- 学校の課題だから
- ボランティア活動に興味を持っていた
- 具体的に知識や技能を身につけたい
- 将来、社会福祉関係の仕事を希望しているから
- 社会の問題や課題を解決する方法を身につけたい
- 今までと違うボランティア活動を体験してみたい
- 新しい友人や仲間を作りたいかった

## 活動日数別人数



## 参加者の声 (原文を極力尊重しつつ、一部を抜粋して紹介します)

### ★良かったエピソード

・初日は障がいのある方にどのように接するのがよいのか分からず、とても緊張して身体がガチガチになってしまったのですが、施設の職員の方がとても親切にくださり、優しくいろいろなことを教えてくださったので、不安になることはありませんでした。施設のみなさまには本当に感謝しています。

### ★ナツボラを経験して自分のなかで変わったこと

・ボランティア先を決めるところから全て自主的に行ったことで、自分に自信がついた。また、障害を持つ人との関わり方を学ぶことができ非常に有意義な時間となった。  
・自分でナツボラに登録したり、自分で施設の方と連絡を取り合うというような、学校以外の場所で自分ひとりで物事に取り組むということを私は今まで経験したことがありませんでした。しかし、今回ナツボラに参加して、自分で考えて行動することの大切さや責任というものを実感しました。また、人のお役に立つことの喜びも感じ、少し自分に自信がついたように思います。

### ★ナツボラを経験して、周囲の方に伝えたいこと

・中学生の私でも自分から行動すれば役に立つことがあるのでどんな年齢の人でも自分から行動して探してみれば人の力になることができると思います。  
・普段ボランティアをする機会は日常の中では少ないと思いますが、参加してみると新たな自分を発見できたり、普段関わらないような人とも関わることができるため、そのようなボランティアの良さを伝えたいです。

## 受入団体の声

### ★受け入れを通して『よかった』『印象に残った』と感じたこと

・コロナ禍の数年間、なかなか外部の方々を受け入れることができない間に、着々と年齢も上がり、さまざまな影響で能力低下を顕著にしている利用者たち。自身のことで精いっぱい他者と積極的にかかわろうとする余裕が下がってきている現状を痛感しました。しかし、どんな状況でもボランティアさんが来てくれることにはたくさんのメリットがあります。たくさんの方に気軽に参加いただくためにも、ボランティアさんの受け入れやかかわり方に工夫が必要だと気付きました。ありがとうございました。  
・保育士という仕事に興味や関心を持っていただけたことは良かったと思います。小さい子に頼られてうれしかった、可愛かったという感想がたくさんあったので、「自分は必要とされている」という高校生自身の自己肯定感にもつながったのではないかと思います。

### ★ナツボラ全体へのご意見・ご感想

・福祉の現場を将来の目標を見据えて参考にしてもらえる機会を作れて良いと感じた。  
・今までナツボラでは当施設は立地条件や障害者施設という事で、特に中学生や高校生には敷居が高い印象を持たれてしまっている様に感じていました。今年は、障害者福祉に関心が高い中学生のご希望もあり、とても嬉しく感じました。どの方も積極的に活動に参加して下さり、しっかり目的を持った純粋な学生さんに出会い、こちらもまた勉強になりました。  
・全体的に皆さん、保育園に興味を思っていて関わってくれている姿が印象的でした。ボランティアさんが緊張している姿もある中で、職員一人ひとりもかかわり方や伝え方を考えるきっかけになって良かったです。

# 受入団体一覧 (順不同、敬称略)

分野	受入団体名
高齢者とともに楽しく過す	たつなみ会通所介護事業所
	ふきのとうデイホーム
	グループホーム花みず木
	デイホーム桜丘
	特別養護老人ホーム 博水の郷
	デイホーム中町
	デイホーム千歳
	老人給食協力会ふきのとう
	デイ・ホーム上用賀
	デイ・ホーム深沢
障害のある人と一緒に楽しむ	スペースえるぶ
	岡本福祉作業ホーム玉堤分場
	ウッドベッカーの森
	社会福祉法人泉会・泉の家
	世田谷区立千歳台福祉園
	玉堤つどいの家
	世田谷区立岡本福祉作業ホーム
	世田谷区立下馬福祉工房
	東北沢つどいの家
	世田谷区立桜上水福祉園
	こんにちは！誰でもスペース 発信基地ゆうじ屋
	給田福祉園
	駒沢生活実習所
烏山福祉作業所	
世田谷区立奥沢福祉園	
国際・環境・災害	NPO法人えこひろば
	せたがや災害ボランティアセンター
	実家なんとかし隊
	船橋小径の会
	JCA千歳船橋・世田谷ボランティア協会
	世田谷ボランティアセンター

分野	受入団体名
保育園の子どもたちに楽しいひとときを	池尻かもめ保育園
	早苗保育園
	ぴっころ保育園
	祖師谷保育園分園
	烏山保育園
	烏山翼保育園
	砧保育園
	烏山杉の子保育園
	遊愛保育園
	さくらしんまち保育園
	さくらのその保育園
	鳩ぼっぽ保育園
	下馬鳩ぼっぽ保育園
フロンティアキッズ上馬	
芦花ゆりかご保育園	
用賀なのはな保育園	
フロンティアキッズ上町	
尾山台みどり保育園	
子どもたちに楽しいひとときを	凸凹kidsすべいす
	プレイ&リズム希望丘
	デイサービスにじのご給田
	のざわテットーひろば
	あおぞら縁
	Ohana kids
	NPO法人砧・多摩川あそび村
	フリースクール僕んち
	世田谷プレーパーク
	駒沢はらっぱプレーパーク
羽根木プレーパーク	
烏山プレーパーク	
放課後等デイサービス あじさい	
放課後等デイサービスにじのご赤堤	

# ナツボラ・ジュニア 2023

ナツボラ・ジュニア「小学生にもボランティア体験をしてほしい」との声に応え、夏休み期間に小学生やその家族にボランティア活動に出会い、体験してもらおう場を設けています。体験を通じて、地域内でのおたがいさまの心や生きる力が育まれることを目指しています。

今年もボランティアビューローとボランティアセンターが合同で実施しました。全19プログラムを用意し、参加者は140名でした！プログラム実施にあたりご協力いただいたみなさま、ありがとうございました！

## 北沢ボランティアビューロー



## 玉川ボランティアビューロー



## 鳥山ボランティアビューロー



## 砧ボランティアビューロー準備室



## 世田谷ボランティアセンター





～地域の人たちとつくる子ども食堂～  
世田谷子ども食堂・まつばらキッチン

## まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●  
街の中で地域やそこで暮らす  
人たちと一緒に活動している  
団体を紹介します



松原小学校隣にある松原ふれあいルームで活動する『世田谷子ども食堂・まつばらキッチン』。18歳以下の子どもが無料で食事をすることができるとの会員登録制の子ども食堂です。毎月第1・3水曜日の午後5～7時に、地域住民を中心に学生ボランティアと一緒に運営しています。今回は代表の村上由美さんにお話を伺いました。

活動の目的は「子どもの健やかな成長を見守る気持ち大切に、地域に根差した子ども食堂」。もともとは別の方が運営されていたが、コロナ禍で活動を休止したが、コロナ禍で活動を休止しながら、子どもたちがいる一方で、その方が高齢であることから活動再開を悩んでいたこと

ろ、以前から知り合いだった村上さんが声をかけられ、その運営を引き継ぐ形で新たに2022年に活動を始めたそうです。現在は30名ほどの子どもたちが

登録。6人のスタッフで運営しており、少人数の登録制なのでアットホームで子ども一人一人の様子を見られるのが特徴とのこと。献立にもこだわっており、栄養のバランスや見た目、季節感など、子どもが喜びそうな食材やメニューを選んでいくそうです。食材に関しては社協から提供されたフードドライブ品のほか、地域の方々からも多く差し入れをいただいているそうです。

また、大学生ボランティアに関

わってもらっているのも特徴です。やはり年齢が大人よりも近いせいか、お兄さん・お姉さんの存在として子どもの遊び相手になったり、一緒に食べながら子どもがマナーやルールを学ぶ場にもなったりしています。元気のある子どももいて、手を焼くこともあるそうですが、違う世代の人たちとわかることで、自分らしさを出せる場になっているのかもと感じています。

村上さんの願いは、食事を通して子どもたちが地域や多世代の人たちと心を通わせようこと。今の悩みは大学生ボランティアの定着が就職活動や卒業などもあって難しくなっていることだそうです。人との関係づくりは時間がかかりますが、子ども食堂でのボランティアは地域や多世代の人たちとつながるきっかけにもなります。心当たりのある方はぜひ関わってみてはいかがでしょうか。

<問い合わせ先>

TEL: 070-3946-9795 (北沢地域社会福祉協議会松原地区事務局)

e-mail: matubara.ch@gmail.com

Facebook: "世田谷子ども食堂まつばらキッチン" で Facebook 内で検索

Instagram: "【世田谷区松原エリア】子ども食堂" で Instagram 内で検索

## 老人給食協力会ふきのとう「40周年のつどい」と 見つけ直す地域のつながり

取材：清藤千秋

10月1日、老人給食協力会ふきのとうが「40周年のつどい」を開催。会場は多くの来場者で賑わい、これまでの歩みを振り返りました。

ふきのとうは、地域の主婦、平野眞佐子さんが母親の仲間たちと広場を守るための署名活動を始めたことからスタートしています。署名活動をする中で、一人暮らしの高齢者が多いことを知り、食事を開催。脚が悪くなって来られなくなつた方のためにと、いつの間にか配食へ。区内にどんどん支部が広がってゆき、さらには、ホームヘルプサービス、男性料理教室、コミュニティカフェなど、つぎつぎと新しいサービスを立ち上げてきました。「地域はひとつの家族」を掲げ、地域に住むボランティアの眼差しから「必要とされている」と感じ取ったニーズがそのま

まサービスとなつてきたのです。

配食サービスは、ボランティアの皆さんの手によってコロナ禍でも休まず続けました。代表の平野覚治さんは、「自立したボランティアが自分たちの地域の仲間のためにと自分たちで決めてやり切つた。こうした自立の精神がふきのとうという団体の伝統だと私は思っています」

会場では懐かしい写真を振り返りながら「みんな若い」とボランティアやスタッフたちが笑い合う場面もあり、ミニコンサートも開催されて大いに盛り上がりました。長年ボランティアとして携わつてきた5人の「ふきのとうの歴史をひもとく」リレートークでは、その地域の主婦であつた皆さんが、当時から現在にかけて利用者さんも一体となつた「地域の仲間」とつながりを持つる喜びを語

りました。

「孤立・孤独」が大きな社会課題となつている昨今、日常の中のつながりの重要性が再認識されています。食という生きるに欠かせない営みを通じて、地域の人々を見守り、交流してきたふきのとうの存在は、大きな光を投げかけているように思えました。



来場者全員で記念撮影（撮影：近藤浩紀）

## ご相談ください

### 個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをおつなぎする橋渡しをしています。困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、ご相談ください。

### 個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合うことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生～高校生の個別の学習支援に取り組みボランティアを探して紹介しています。現在は、オンラインでの学習支

電話でお話ししながら、どんなことができそうか、どんな解決方法があるか、一緒に考えます。  
●問合せ／世田谷ボランティアセンター  
TEL 5712・5101

援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 高居・原口  
TEL 5712・5101  
takai@tagaisana.or.jp

## ボランティア求む

### 小 難病20代男性の外出行き添いボランティア求む

ハンチントン病の20代男性が、外出に付き添ってくださる男性ボランティアを求めています。病気の影響で体幹が弱いです。手をとって歩いてもらえば、安心して外出ができます。行先は、フラインドサッカーの練習会場。得意なサッカーを活かして、週末にフラインドサッカーチームでアドバイザーをしています。練習会場の行き帰りの付き添いをお願いしたいです。まずはお問合せください。

●日時／練習（土曜または日曜）2～3時間＋往復1～2時間程度  
2月2～3回（頻度は応相談）  
場所／自宅（桜丘）と練習会場（日替わり）の往復  
●交通／千歳船橋駅徒歩3分  
●条件／男性（同年代希望）、交通費実費支給  
●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口  
TEL 5712・5101  
haraguchi@tagaisana.or.jp

### 小 京 中学2年生男子の話し相手ボランティア募集

中学2年生の男子の話し相手になってくださる方を募集しています。ポケモンが好きで、ポケモンのことを一緒に話したり遊んでいただけたらうれしいです。

●日時／平日週一回（曜日は要相談）、午後の1時間程度  
●場所／世田谷区千歳台の自宅  
●交通／千歳鳥山駅か千歳船橋駅からバスで10分ほど  
●問合せ／鳥山ボランティアビューロー  
TEL 6909・0333  
karasubora@tagaisana.or.jp

## 東 一緒に勉強してくれるボランティアを募集中

等々力にある児童福祉施設で小学生から高校生までの子どもたちに寄り添ってくださるお兄さん・お姉さんを募集しています。小学生には主に宿題の見守り、中学生とは話し相手としても関わっていただけると嬉しいです。学習支援の経験がなくてもまずは気軽にご連絡ください。

●日時/月々金曜日の18時〜20時

(週1回、1回1時間でも可。  
ご相談ください)

- 場所/児童福祉施設内の学習室
- 条件/学生。ボランティア保険加入(費用は事業所負担)、交通費支給

●問合せ/玉川ボランティアビュー  
1-01-  
TEL 3707-3528  
tamabor@otagaisama.or.jp

## 京小 高齢女性の歩行付き添いボランティア募集

上祖師谷の高齢者施設に通う女性(歩行器使用)が、最寄りのバス停まで付き添ってくださるボランティアを求めています。バス停まではゆっくり歩いて10分ほどです。バスに乗りこむ時のサポートもお願いしたいです。近くにお住まいの方、毎週でなくても構いませんのでぜひお手伝いください。(施設にて、せたがやシニアボランティアのポイントが受け取れます)

●日時/毎週水曜日12時半(デイ

サービス終了)〜13時ごろ

- (12時50分のバスに乗ります)
- 場所/語らいの家(上祖師谷6・7・23)から駒大グラウンド前バス停まで
- 条件/徒歩や自転車でも来られる方希望

●問合せ/烏山ボランティアビュー  
1-01-  
TEL 6009-0333  
karasubora@otagaisama.or.jp

## 京 視覚障害者の健康体操をサポーターして下さる方を募集しています

視覚障害者の方を対象とした健康体操を行っているグループの活動の準備や片付け、近くの駅やバス停までのサポートをして下さる方を探しています。詳しくはお問い合わせください。

●日時/月1回(第2月曜日)

13時半〜16時

- 場所/主に烏山区民センター
- 交通/千歳烏山駅
- 条件/視覚に障害がある方と関わった経験がある方

●問合せ/烏山ボランティアビュー  
1-01-  
TEL 6009-0333  
karasubora@otagaisama.or.jp

## 有償スタッフ募集

### 東 難病の方の通勤サポート&PC作業手伝い&犬の世話をしてくださる方募集

関節の炎症のため1人での歩行が難しい女性教員が、通勤サポート(車の運転および歩行時に荷物を持つ)(片道40分程度)と、仕事場および自宅でのPC作業(メールチェック等。PCはMac)を手伝ってくださる方を探しています。

また、犬の世話をお願いすることがあります。おとなしく眠ってることが多いので、お世話はほぼ不要ですが、見守りをお願いいたします。

通勤にはご本人の車を使用し、道に慣れるまではご本人が片道

運転することが可能です。現在複数名でサポートしていますが、新たに活動してくださる方を探しています。まずはお問い合わせください。

- 日時/毎週火曜日10時半〜17時
- 場所/自宅(野毛2丁目)と職場
- 交通/上野毛駅(自宅最寄り)
- 条件/女性、1回6968円(6.5時間の場合)1072円/時、集合場所までの交通費別途支給

●問合せ/玉川ボランティアビュー  
1-01-  
TEL 3707-3528  
tamabor@otagaisama.or.jp

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

## 有償スタッフ募集

### 東 80代男性の見守りをお願いします

- 車いす生活の81歳の男性（桜新町2丁目在住）が、奥様が留守の時に一緒にいてくださる方を求めています。寡黙ですが元気な方です。将棋と一緒にやってみると嬉しいです。トイレ介助（スポンじの上げ下げのみ）をお願いするかもしれません。男性の方の応募をお待ちしています。
- 日時/月に1回程度 2時間  
TEL 3707-3528  
tamborara@otagaisama.or.jp

## 講座・その他・募集

### 小京防災講座 『災害時に必要な障害者への配慮』

- NPO法人せたがや防災士会の防災講座、12月のテーマは障害者に必要な災害時の配慮についてです。講師は、国立障害者リハビリテーションセンターの元職員、医学博士・北村弥生さん（防災士）。
- 日時/12月3日（日）13時30分～15時30分  
●場所/北沢タウンホール 2階 第一会議室  
（世田谷区北沢2-8-18）  
●交通/下北沢駅徒歩5分  
●条件/Zoom参加希望者はこちらから <https://gd/90the>  
●問合せ/NPO法人せたがや防災士会 担当 高橋  
<https://seta-bou.org/>

### 小 秋の北沢ヒューローバザー&バザーボランティア募集

- 昨年、梅丘と代田が統合し、4月には梅丘ボランティアビューローから北沢ボランティアビューローと名称を変更しました。北沢ボランティアビューローとしての初めてのバザーです。この場所でのバザーは2年ぶり。地域のみならずから提供していただいた品物より多くの人でユースしていただければと思います。たくさんの方のご来場をお待ちしています。
- 日時/11月11日（土）10時半～15時半  
●場所/北沢ボランティアビューロー1階  
●交通/梅ヶ丘駅徒歩5分
- ④バザー提供品受付に関して/  
受付期間は、10月30日（月）～11月4日（土）祝日は除く
- ※荷受け可能な品物/衣類（子供服含む）、着物、アクセサリ、贈答品、タオル・ハンカチ（新品、雑貨、食器、かばん・靴（新品及びそれに近いもの））  
※荷受け不可能な物/電化製品、家具、背広、食品、人形、ぬいぐるみ・おもちゃ
- バザーボランティア募集/  
（A）値付けなどの準備ボランティア（11月6日～10日）  
（B）チラシを広報板に貼る作業（11月2日頃）  
チラシを広報板から剥がす作業（11月11日頃）  
（C）当日運営（11月11日）  
片付け（11月13日午前）  
手伝ってくださいボランティアさんを募集します。時間等詳細はお問合せください。  
●問合せ/北沢ボランティアビューロー  
TEL 3420-2520  
Kitaborara@otagaisama.or.jp

## 京 災害ボランティアコーディネーター養成講座（基礎編） @日本女子体育大学

- 2023年度4回目となる「災害ボランティアコーディネーター養成講座基礎編」を日本女子体育大学にて開催します！内容は講義・模擬訓練、世田谷区の災害対策、災害ボランティアの活動内容（世田谷方式）等を学びます。
- 日時／12月2日（土）13時30分～16時30分※13時より受付開始
  - 会場／日本女子体育大学 本館E101  
（世田谷区北烏山8-19-1）
  - 交通／千歳烏山駅からバス「日本女子体育大学前」下車すぐ
  - 参加費／無料
  - 申込／12月1日（金）正午までに、せたがや災害ボランティアセンターHP内の専用フォームまたはメールが電話にてお申し込みください。
  - 問合せ／せたがや災害ボランティアセンター  
TEL 5712-5101  
saigai-info@otagaisama.or.jp

## 小 もつと語ろう不登校

- これまで29年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。
- 日時／11月4日（土）14時～
  - 場所／人の泉・オーブンスペー
  - Part 2023  
スロウ（赤堤1-15-13）  
またはZOOM会議
  - 交通／豪徳寺駅徒歩8分
  - 条件／事前申し込み制
  - 問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 佐藤 090-9248-1355  
tsutoru@yahoo.co.jp

## Aシステムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発したAシステムによるマッチングサイト（世田谷版GBER「ジーバー」）で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は左記二次元コードからご覧ください。



## 東 世田谷ボランティアセンター大規模改修のお知らせ

世田谷ボランティアセンターは、12月末まで大規模改修を行っています。その間、会議室・印刷室などの利用ができなくなります。利用再開は2024年1月5日（金）の予定です。会議室利用予約は11月1日（水）から受付開始します。期間中、センター窓口受付対応については以下の時間帯で対応いたします。

- 物品の貸し出し  
車いす、白杖の2点です。その他物品の貸し出しは早めにご相談ください。ご不便をおかけし申し訳ございませんが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

土・日 9時～17時  
※事前連絡の上お越しくたさい。

## 世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

### ●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 北沢ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 烏山ボランティアビューロー 〒157-0065 上祖師谷1-11-14 TEL (6909)0333 FAX (6909)0355
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

### ●日ごろの備えが災害時の力になる●

- せたがや災害ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811

### ●いのちを大切にするとこ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

### ●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

### ●障害にともなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ほーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405
- スペースココカラ。(ほーとせたがや・パートナーセンター) 〒154-0002 太子堂4-26-9 TEL (6804)0405

### ●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)  
\*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

## 拠点は今… 今月のおススメ!

### ◆センター&ビューローより

11月11日(土)に、北沢ボランティアビューローでバザーを開催します。12月2日(土)に、「災害ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編」を日本女子体育大学にて開催します。詳しくはP.10-11をご覧ください。

### ◆ふらっと& withより

ふらっとにも秋から冬に向かって「そなえ」です。カゼに負けないよう…陽をあびて今日も散歩に出かけます。是非、一緒に。

### ◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

### ◆チャイルドラインより

11月11日(土)、12日(日)に、下北沢駅前広場にて開催される「シモキタ三ツ星バザール2023」に出店します! 活動紹介の他、八女の物産品やボランティアさんの手作り品を販売します。ぜひお越しください。

### 編集後記

■今年のナツボラは、ほぼ例年通りの形で開催し、たくさんの参加があり、とても嬉しかったです。私は、オリエンテーションの担当をし、ボランティアとは何か、またボランティアする上での心構えなどを伝えました。参加者からの体験レポートは、「参加してよかった。ボランティアを通じて新しい発見ができた」、「人の役に立てて自信がついた」など、また、受入団体からも参加してよかったとのお声を頂けて、来年度の開催に向けて励みになりました。(近藤)

●発行  
社会福祉法人  
世田谷ボランティア協会  
〒154-0002  
世田谷区下馬2-20-14  
TEL 03-5712-5101  
FAX 03-3410-3811

●E-MAIL  
setabora@otagaisama.or.jp  
●ホームページ  
https://www.otagaisama.or.jp/  
●発行人  
横山 康博

